

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

186号

2017年1月14日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

最近、飛行機が気になりだした人が増えています。確かに以前より頻繁に上空を通過しているように思えます。徐々に慣らしてしまおうという国交省の作戦じゃないか、という穿った考えの人もいるくらいです。また、朝霞かどこかの自衛隊のヘリが編隊を組んで低空飛行をした時は、あまりのひどい轟音に驚きました。どこに抗議すべきか迷っているうちに雑事に紛れてしまいましたが、荒川の上とか、やりようがあるはずです。

○ 都民への説明会

国交省 HP の住民説明会の開催予定では、1月11日から16カ所で行うそうです。板橋区は

3月29日（水）14：00～19：00

小豆沢の志村坂上地域センター2階洋室A

の1回のみです。しかも相変わらずオープンハウス型の説明会で、一般的な質疑応答が公開になる教室型ではありませんが、是非ご参加を！

○ 陳情を二つ出しました

常盤台の景観を守る会では、現在署名を集めている岡本氏の陳情以外に、他の委員会でも検討してほしいと考え、論点の異なる二つの陳情を提出。区民環境委員会（1月24日）と都市建設委員会（1月26日）で審議されます。

○ 署名の報告

岡本氏陳情は、11月25日現在2200筆を超えています。大々的に運動を展開してはいませんが、着実に賛同者は増えています。

○ 中央図書館跡地の問題

1月末か2月に話し合いを申し込む予定です。

○ ゴーアラウンド（着陸やり直し）

— 文京区であったこと —

「17日土曜日、午後3時40分前後に、大きな飛行音が続けて2回。これはゴーアラウンドだと思い、外へ出ると南の空に北から東に方向を転換する航空機がこちらにやってくるのが見えました。かなり低空です。真上にやってくるとさすがに道路にいた人も何事かと辺りを見回しています。自宅真上を轟音を立てて東の方に去りました。胴体の模様、左翼下の機体番号の位置なども肉眼で見えました。5、6分の内に3回ゴーアラウンドがあり、今までなかったことなので、月曜日に空港事務所に電話をかけ調べてくれるよう依頼しました。木曜日に再び空港事務所に電話して事情を聞きました。それによると、土曜日にゴーアラウンドをしたのは3機。理由はこの3機の前にA滑走路に着陸した機体から部品が欠落しているのが分かり、点検のためA滑走路を閉鎖したためとのことでした。結果として滑走路には部品は発見されず、閉鎖は解かれたとのことですが、なくなった部品がどこに落ちたかは不明とのこと。今でも、羽田では部品が落ちていることの証明です」

これは文京区Iさんのメール。一部短縮しました。ゴーアラウンドは都心上空を旋回して試みるので、決められた航路と無関係に行われます。

また、Mさんの調査では、この時（昨年12月17日）、ゴーアラウンドした飛行機は大崎、青山、信濃町、文京区を通過。高度は1200m、つまり常盤台上空と同じ高さになります。これが1時間少なくとも2分に1回飛ぶようになるなんて信じられないことはありませんか。

常盤台は閑静な住宅地として名が通っていましたが、「閑静」とは言えなくなるでしょう。

十二月に満開

— 東大のヒマラヤ桜 —

東大のひっそりとした構内にその桜はありました。赤門を入って右の奥を曲がると、見捨てられたような所の物置に寄りかかった姿でしたが、十二月というのにピンクの花は真つ盛り。つぼみも沢山付いていました。冬の桜は幾種類かありますが、みなささやかな冬らしい花であり花色です。ところがこのヒマラヤ桜は、春の桜に劣らない豪華さでした。

熱海には昭和四十二年にネパールから贈られたヒマラヤ桜が数本あるそうですが、東大の場合は違う由来がパネルに書かれていました。今年の暮れには是非見に行ってください。

高齢者にできること

高齢者といっても千差万別、九〇歳すぎでもカクシヤクとして行動している人もいれば、七〇歳にもならないうちから老け込んでしまう人まで様々なのですから、一括りには論じられませんが、一般的には七十歳以上を高齢者というようですが、みんなが元気なこの頃、七十五歳以上に変えようという報道もありました。

これを読んでいるあなたは高齢者ですか？でもまだ字も読めるし、自由に好きなところに歩いて行けるのではありませんか？

老人ホームには話し相手がいなくて退屈し切っていたり、認知症の進行を遅らせた人が何人もいます。週に一回でも「傾聴ボランティア」として活動してみてもどうでしょうか？ゆくゆくはあなたの姿なのだと思います。

大丈夫なの？オリンピック騒ぎ(5)

* 巨額な費用の負担

国を挙げて一致団結で誘致したはずのオリンピックなのに、いざ施設などの必要経費をどこが負担するかとなると、責任の押し付け合いになっている。国・都・自治体・五輪組織委員会がそれぞれ主張している中で、小池都知事が組織委員会の収入を図って、スカーフやバッグの販売を提案したりしているのは、さすがにオトナの態度だと思った。東京都の発言力を嫌い、当初九割以上出資していた都へそれを返却した森元首相の組織委員会だったが、今のところ他に財源もないようだ。

オリンピックで一番儲かるのは建設業界やホテル業界だろう。そこらへんが儲けの一部で負担してはどうか。挙国一致であれば。

カジノ解禁は誰が？

いやはや、あきれたことばかりだ。公明党も良識ある立場に立ち返ってほしい。賛成に回ったのは誰か、有権者は次の選挙時まで覚えていよう。維新党はカジノ党と改名した方がその本質がわかるというものだ。

いったい子供たちに博奕に興じる大人の姿をどう説明できるのだろうか。野球賭博で送検されたプロ野球選手は道義責任を問われなくなるのか。それほど博奕がしたければ、ラスベガスでもシンガポールでも行けば良いのだ。観光客は歓迎だが、金持ちでも質の低いのはお断りしたい。日本は金さえ儲かればなんでもやるような情けない国になってしまったのだろうか。

常盤台公園のはなづくり

チューリップの球根が眠っている間、その上は土がむきだしのままですが、今年もパンジーを植えてみました。

球根にさわらないよう注意して穴を掘るのですが、それでももう伸び始めているチューリップの芽を傷つけることがあります。

Tさんの話では、ある人が定期的に公園の花壇から花を盗っていくのだそうです。先日は現場を見つけて問いただしたところ、いきなり土下座して謝ったのは、かえって困ってしまったとか。万引きと同じで、中毒というか、依存症というか、めったなことでは治らないのかも知れません。

二丁目のTさんの家でも、植え込んだパンジーが掘りとられたり、ひどいことに木の枝がわざと折られたりしていました。どんな思いでそんなことをするのか想像が付きません。ゆとりのある暮らしにねたみを感じるのでしょうか。

余裕のある人は公共のために、社会に還元する意味で外側の美化を心がけているのだと思います。そういう家が数多く存在するから、常盤台のまちは美しいのです。散歩する楽しみがあるのです。

心ない人たちのしわざに傷ついて、花を咲かせる家が無くなってしまわぬよう祈るばかりです。